

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	「柔道整復施術療養費の適正化のための調査検討会」に要する経費		担当部局庁	保険局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	医療課	宇都宮 啓		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ、安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「柔道整復師の施術に係る療養費について」(平成22年5月24日保発0524第2号保険局長通知)等			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化の調査検討のために施術者、有識者、保険者などから構成される専門委員会を運営する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化の調査検討のために施術者、有識者、保険者などから構成される専門委員会を運営するための経費。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	6	/	
		補正予算	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	
		計	/	/	6	/	
	執行額	/	/	0	/		
	執行率(%)	/	/	0.00%	/		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化の調査検討のために設置する専門委員会の謝金・旅費等であるため、定量的な指標を示すことはできない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	/
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化の調査検討のために設置する専門委員会の謝金・旅費等であるため、定量的な指標を示すことはできない。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
					( - )	( - )	( - )
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	/	/	24年度予算限り			
	委員等旅費	/	/				
	庁費	/	/				
		/	/				
		/	/				
	計	/	/				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化の調査検討が目的であることから、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化の調査検討が目的であることから、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-	-	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	当該経費の執行に当たっては、厚生労働省共通費に切り替えためである。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	平成21年11月の行政刷新会議において、柔道整復施術療養費は国民医療費の伸びを上回る勢いで増加しており、また、部位別数請求の地域差が大きいことから、多部位請求の適正化など給付の適正化が必要と指摘を受けた。 また、平成22年11月には、会計検査院から、厚生労働大臣あてに柔道整復施術療養費の支給を適正なものとするよう意見を表示されたところであり、施術の単価の改定及び長期的視点に立った療養費のあり方を見直しについて検討し、適正化を図ることとしている。 今後は、療養費検討専門委員会において、柔道整復施術療養費の算定基準の見直しや審査委員会の機能強化などの適正化の調査検討、中長期的な視点に立った療養費の在り方を見直しの検討を行う予定。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	平成24-0043

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

- ・執行実績無し
- ・予算要求予定無し

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					